

令和6年度 第1回 恵庭市総合教育会議録

- 1 日 時 令和6年12月9日(月) 13:30~15:00
- 2 場 所 恵庭市郷土資料館(研修室)
- 3 出席者 (市長)原田 裕 (教育長)岩淵 隆
(教育委員)福屋 栄人、白崎 亜紀子、中山 舞
(説明員)(郷土資料館)館長 高野 隆司、主査・学芸員 長町 章弘
事務局
(総務部長) 広中 敦 (総務部次長)高橋 卓也
(総務課長) 北田 元樹
(教育部長) 狩野 洋一 (教育部次長)山口 晃弘
(教育総務課長) 藤野 真一郎
- 4 傍聴者 なし
- 5 議題 議題(1)西島松5遺跡出土品の重要文化財新指定に伴う視察について
(2)その他
- 6 議事録内容

1. 市長挨拶

本日はお忙しいところ、総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。教育委員の皆様におかれましては、日頃より教育行政にご意見をいただき、心から感謝申し上げます。

総合教育会議は、令和3年5月に第三次恵庭市教育大綱が策定されて以降、毎年1回以上行い、教育に関わる課題に対して教育委員の皆様と協議、意見交換を行って参りました。今年、西島松5遺跡出土品が重要文化財の指定を受け、恵庭市の重要文化財は2つ目となりました。どのように保存・管理し、市民・市外の方にも見てもらう機会を作るか考える必要がある。本日は、委員の皆様から忌憚のないご意見を賜りながら有意義な会議になることを期待し挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

2. 教育長挨拶

皆様おつかれさまです。まず原田市長にはいつも子どもたちのことを第一に考えていただきまして、様々なバックアップをいただいていますことに心からお礼申し上げます。

今日の議題の西島松5遺跡ですが、5月に市長と一緒に国立博物館に行き、学芸員ともども大変感激して帰ってきました。昨年行ったときに遠軽町の旧白滝村の15,000年から30,000年前の黒曜石で作られた石器が国立博物館に展示されていて、その時は羨ましいというよりも私たちには縁のない話だと思ったのですが、それが今回国立博物館で我がまちの文化財が指定されるというこの上ない名誉であります。

文化財の活用そして後世に残すということも我々の使命だと思いますので、本日は委員の皆様のご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議題

(1) 西島松5遺跡出土品の重要文化財新指定に伴う視察について

○郷土資料館 高野館長より資料について概要説明

- ・現在、郷土資料館特別展示室で西島松5遺跡出土品の展示をしている。(資料 P1)
- ・出土された場所は恵み野駅西側、柏木川の左岸。(資料 P2)
- ・発掘と指定に至った経緯については資料 P3 のとおり。
- ・今回重文指定されたのは 218 点で、種類と各点数については資料 P4 のとおり。
- ・今回刀類が多く出土されているため、資料 P6 に時代による刀の形の違い等について参考図を載せている。

○郷土資料館 長町主査より説明

- ・正式名称を北海道西島松5遺跡出土品といい、令和6年8月27日に重要文化財の指定を受けた。時期としては、擦文文化期前半(約1,400~1,200年前)のもの。

指定理由…遺存状態良好な金属製品や土器を多数含み、擦文時代前半における北海道中央部独特の墓制の内容をよく示すこと、また、当地と東北部や畿内地域との交流や文化的影響関係、政治的関係性を考究するうえできわめて重要であり、学術的価値が高いため。(文化庁が作成した「国宝・重要文化財議案説明書」から抜粋)

- ・財団法人北海道埋蔵文化財センター(当時)が、平成12~16年に遊水地建設に伴い発掘調査を実施。今回重要文化財に指定された金属製品などが副葬されたお墓は平成12年に発掘され、擦文文化期前半の土坑墓が84個、周溝のある墓が6個見つかった。
- ・北海道の続縄文文化期後半~擦文文化期(5~13世紀)の遺構出土の金属製品はほぼ墓から出土しており、西島松5遺跡から出土した金属製品は全体の1/4、柏木東、ユカンボシなどの出土品も合わせると約4割が恵庭で出土している。(道埋文 土肥氏作成したグラフに基づく)

背景…7世紀、日本は飛鳥時代で、天皇を中心とする中央政権が近畿地方、都は奈良県におかれており、北海道には蝦夷という異民族が住んでいるという認識。

北方の貴重な品物(陸や海の獣の皮、ワシの羽、昆布等)を目的に、蝦夷を服属(鉄や布を与えるなど、手名付ける)させ、交易を行う出先機関を設置するなど、勢力の拡大を図ったとされている。

【質疑・意見】

(市長)

ニセコのヒラフの名前の由来は？

(郷土資料館 長町主査)

阿倍引田臣比羅夫が訪れた地として、幕末の探検家である松浦武四郎が名付けたとされている。

(市長)

飛鳥時代、本州でも擦文土器が作られていたのか。

(郷土資料館 長町主査)

作られていない。本州では土師器(はじき) (素焼き、模様が擦文土器と違う) が作られていた。

(市長)

地元にはどんな人がいたのか。

(郷土資料館 長町主査)

刀をもらうだけの価値のある人(ここ一体を治める力のあるリーダー) がいた。
本州からの移住者ではなく、元々北海道にいた擦文人と考えられる。

～館内視察～

【質疑・意見】

(A委員)

価値のある遺跡が恵庭市にあるということを実感した。郷土資料館内では、とても分かりやすい説明をしていただき、最後にはゲーム感覚で復習できるコーナーもあり、大人も子どもも楽しめる工夫があり良かった。

(B委員)

貴重な出土品をみせていただいた。恵庭から多くの出土品が出ているということで、ぜひこのことは、小中学校のカリキュラムにも活用していただけたらと思う。

(教育長)

現在の副読本には、カリンバ遺跡についての記載はあるが、重要文化財ということは明記されていない。2年後の改訂時にはぜひ記載し、子どもたちには、恵庭市に重要文化財が2つもあるということを知ってもらいたい。

以上